

# 静岡県議会議員選挙公報

平成 27 年 4 月 12 日執行 ◆静岡市駿河区選挙区◆ 静岡県選挙管理委員会

## 青年世代を応援します！

- 保育施設を充実します
- 就学前幼児の教育機会を増やします
- 対話中心の授業で学力を伸ばします
- 大学定員を増加し人材を育成します
- 成長産業を呼び込んで雇用を増やします

## 本当の安全を実現します

- 県市連携の津波対策を実行します
- 砂防・河川への集中投資を実行します
- 適正な避難場所を配置します

## 本当の安心を実現します

- 在宅へ医療・看護・介護を提供します
- 交番の適正配置で犯罪を抑制します
- ネット社会の不適切情報、危険ドラッグを撲滅します

地方創生。  
その最前線に立つ。  
声を力に。

政策を提言し、  
実現する議員でありたい。  
政治は、  
批判することではなく、  
創造することだ。  
市議初当選から十六年。  
そう信じてやってきました。  
新しい発展のモデルを創造する。



自由民主党公認(41才)  
あいさか  
せつじ

党県連 青年局長  
党県連 政調副会長

1973年生まれ。現在41歳。市立長田南小、城山中、県立静岡高、明治大学法学部卒。  
静岡市議会議員を三期務め、議会運営委員長、総務委員長等を歴任。  
現在、自民党静岡県連青年局長、政調副会長。  
県議会では、厚生委員会副委員長、医療審議会副会長、議会運営委員会委員、特別委員会副委員長等。

## 💡 新発想でつくろう。豊かな人口減少社会

主張③

日頃から地域内のツナガリが強い社会は、災害にも強い社会です。小中学校を拠点とした地域づくり(市立清水江尻小でのコミュニティスクール等)の推進により、子育てや介護等を近所や地域全体で支え合い、地域の課題は地域で解決する社会を実現すべきです。

主張③  
地域の課題は地域で解決する  
取り組みを推進しよう！

主張②  
子供たちの目線にしっかり立った  
政策を推進しよう！

六人に一人の子供が貧困に苦しむなど、子供たちの厳しい生活環境の改善に最優先で取り組むべきです。また、少人数教育の推進や特別支援学級等への支援の充実により、全ての子供たちの個性を伸ばす教育を実現すべきです。更に、ワークライフバランスを推進する企業を積極的に応援すべきです。

主張①  
人口減少をチャンスに変える政策  
を推進しよう！

人口減少により居住地選択の自由度が高まります。土砂災害等の危険が高い地域から安全な地域に居住を政策誘導することにより、災害対策、空き家対策、街のにぎわい創出等を同時に推進すべきです。また、歩行者、自転車、(電動)車いす等に優しい、ゆとりのある街づくりを進めるべきです。



民主党 私たちの社会だ  
すずき さとる  
変えられないはずがない

略歴★明治学院大学卒★英国ケント大学大学院修士課程修了★静岡県議会議員 ☆詳細は→

## 人口減少時代への挑戦 静岡創生で雇用・新産業の創出を！

### 略 歴

昭和58年 3月 静岡市立森下小学校卒  
昭和61年 3月 静岡市立高松中学校卒  
平成元年 3月 静岡県立静岡東高等学校卒  
平成6年 3月 私立上武大学 商学部卒  
平成11年 4月～平成25年 3月(14年間)  
静岡市議会議員 3期  
平成25年 6月～静岡市議会議員 1期  
■家族構成 父・母・妻・4男・4女 12人家族  
■経歴  
◎静岡市議会  
経済・消防・防災委員会委員長／厚生委員会委員長／総務委員会委員長／子育て支援策調査特別委員会委員長／静岡市監査委員  
◎静岡県議会  
企画くらし環境委員会副委員長／家庭教育支援条例案検討委員会／人口減少対策特別委員会  
■趣味  
読書・フットサル・消防活動・神輿担ぎ

安心・安定対策が大事です！

何よりも暮らしの安全。

再生可能エネルギーの  
最大活用を図ります！

もっともって子育て支援で  
豊かな社会を作ります！

10年先も安心の医療・福祉・  
介護を作ります！

静岡県の発展は、静岡市の  
パワーが担います！



自由民主党公認  
さち 茂人  
(44歳)

# 静岡県議会議員選挙公報

平成 27 年 4 月 12 日執行 ◆ 静岡市駿河区選挙区 ◆ 静岡県選挙管理委員会

## プロフィール

● 昭和 28 年、静岡市生まれ ● 静岡市立長田西  
中学校、静岡県立静岡高等学校、東京大学文学部  
卒業 ● 県立高校教諭 13 年、県教育委員会指導  
主事 8 年 ● 県議会議員 4 期 ● 公明党静岡県  
本部副代表 ● 県監査委員 ● 駿河区手越在住

## 教育・福祉のエキスパート!!

### 〈主な実績〉

☆子育てに奮闘するお母さんの声を  
実現

- スクールカウンセラーを全中学校に配置
- 全国に先駆け普通高校に特別支援学校  
高等部分校を併置（県内 10 校）
- ひきこもり支援センターを開設
- 子ども医療費の助成を拡充（通院医療費  
の助成対象を 15 歳までに）

☆甚大化する自然災害への対策も強力に

- 丸子川流域水害対策を推進
- 津波避難ビルの強さを確認するための助  
成制度を確立
- 「緊急地震津波対策交付金」制度を創設

☆命を救うドクターカーの導入

- 医師と看護師が乗り込むドクターカーを  
導入。ドクターヘリでは難しかった夜間や  
悪天候時にも出動。救急救命体制が大き  
く向上した



公明党公認

まえばよし  
前林よういちろう

（61 歳）

## 戦争する国づくりストップ 浜岡原発は再稼働でなく廃炉に

### くらし守る県政に

消費税 10% 増税、年金・福祉切り捨  
ての国の政治から、くらしを守る「防  
波堤」となる県政に変えるときです

駿河区から日本共産党の県議を  
鈴木ちかが変えます

いまの県議会は、「議論が低調」と知事が発言する  
ほど。この流れを転換します。



子どもに笑顔を  
お年寄りに安心を

福祉

- 国・県の補助を増やして払える国保料に
- 特養ホームの増設を
- 介護保険の負担を減らす
- 保育所増やして待機児なくす
- 高 3 まで医療費完全無料に
- 30 人学級で「どの子もわかる」教育を

子育て

雇用  
産業



- 住宅リフォーム助成制度を復活
- ブラック企業・バイト規制条例
- 中小企業を応援、最低賃金の時  
給 1000 円以上条例をつくる



鈴木ちか

日本共産党

44 歳

「先頭に立って苦勞する」―優しさといっ  
ぱ、行動力にあふれています。

今日の **プラス** が、明日の **プラス**。

# 十選挙

プラス

静岡県の  
明日のために  
**十選挙**



おでかけ前、  
おでかけ後に  
**十選挙**

投票日 主役は私 この一票

# 静岡県議会 議員選挙

投票日 **4月12日**

午前7時から午後8時まで（一部地域を除く）

投票日に行けない方は

期日前投票

4月11日（土）まで  
午前8時30分から午後8時まで（一部地域を除く）



静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会